

3.15

靴の記念日
メモリアルイベント

3月15日は「靴の記念日」。日本の靴産業の誕生日です。



ニッポン靴産業150年 と時代を彩った靴

3月10日(土)～15日(木)

浅草文化観光センター7階 展示スペース

3月15日の「靴の記念日」にちなんで、日本の靴産業150年の変遷・歴史を紹介いたします。産業の貴重な資料・図版・写真・映像、そして時代を彩った名靴の数々を展示します。



Exhibit

- 1** 靴産業150年の出来事と発展を支えた業界団体や企業、人を年表パネルや各種資料・写真と共に紹介します。



Exhibit

- 2** 明治から今日に至る時代の中で、靴産業史のエポックメーカー的な靴、ファッション的に注目された靴などを展示します。



Exhibit

- 3** 日本製靴(現リーガルコーポレーション)、大塚製靴、ユニオン製靴(現世界長ユニオン)などの昭和時代のビデオを映写します。



Exhibit

- 4** 戦後の靴産業の歴史の一コマや靴をテーマに写された貴重な写真をパネル展示、また、スライドショーとして紹介します。

Period & Shoes

- 1 産業創生期(明治初期～中期)
- 2 軍需産業期(明治中期～昭和10年代)
- 3 産業復興期(昭和20年代)
- 4 高度成長期(昭和30～40年代)
- 5 産業変革期(昭和50年代～平成初年代)
- 6 新創生期(平成10年代～)

- ・ 明治中期の皇室・皇族の靴
- ・ 昭和初期の軍靴
- ・ 戦後の製靴コンクール入選靴
- ・ 昭和30～40年代のハイヒール
- ・ 紳士靴を変えたVAN REGAL
- ・ デザイナー高田喜佐などの靴
- ・ 9.11NYテロで人命を救った靴
- ・ 手づくり靴作家の作品 etc.



協力 東都製靴工業協同組合、(一社)東靴協会、皮革産業資料館(株)リーガルコーポレーション、大塚製靴(株)、内田製靴(株) etc.

十人十色 百靴百様

靴製作者十人展

3月17日(土)~22日(木)

浅草文化観光センター7階 展示スペース

全国各地で個性的な靴づくりを行い、ユニークな靴を創作する気鋭のクリエイター10人が、それぞれ10足の靴を展示し、靴の世界の様々な広がり表現します。

EXHIBITORS 10



osamu Egawa
江川 治

アルテアルト
東京・東駒形



atsuko Oshima
大島敦子

ソイム
東京・浅草



hiroshi Kida
木田浩史

スタジオイマゴ
福島・いわき



motoyuki Sasaki
佐々木基行

オトベ
大阪・北堀江



ko Soda
曾田 耕

kō
東京・東駒形



masanori Tomita
富田雅則

ホーリークラブ
東京・木場



shinji Nishimori
西森真二

天草製作所
東京・西荻



satoshi Nakazawa
中澤 聡

マチュクツ
愛知・名古屋



kosuke Nojima
野島孝介

吉靴房
京都・上京区



nao Yokoo
横尾 直

NYC
東京・新川



シューズアーティスト

三澤則行の世界

3月24日(土)～29日(木)
浅草文化観光センター7階
展示スペース

ウィーン、カンヌ、ニューヨーク、シンガポール……世界各地で「靴づくり」をベースとした活動を行う三澤則行の靴アートを、2017年11月のニューヨーク個展発表作品を中心に紹介します。

PROFILE

- 日本・東京で靴づくりを学び、オーストリア・ウィーンで修業を重ね、ドイツにおける製靴コンテスト2010において全メダル及び名誉賞を受賞。帰国後は、皮革工芸分野にも活動の場を広げ、2015年には日本革工芸展で文部科学大臣賞を受賞する。
- 2017年、フランス・カンヌ映画祭において作品発表・受注会を開き、多くの世界的俳優、監督からのオーダーを得る。11月には現代アートの中心地でもあるニューヨークのチェルシーで個展開催。アート愛好家、文化人、美術学生など数多くのギャラリイを集め、成功を収める。2018年に入り、世界的なトップダンサーの靴づくりを手掛け、シンガポールで製靴講習を行うなど、さらに活動の場を広げている。

三澤則行トークライブ

展示会期中、会場内で作者を囲み、靴づくりや創作活動について聞くトークショーを行います。

開催予定

- 1 3月24日(土) 午後5時～6時
- 2 3月28日(水) 午後5時～6時



3月15日は「靴の記念日」。日本の靴産業の誕生日です。

出来事	
明治改元	1868
	1870
	1887
	1888
日清戦争	1894
パリ万博	1900
	1906
大正改元	1912
第一次世界大戦	14~18
	1917
	1922
	1923
関東大震災	1926
昭和改元	1927
世界恐慌	1930
太平洋戦争	41~45
	1941
	1942
	47~49
	1950
	50年代
朝鮮戦争	50~53
	1955
	60年代
高度経済成長	1963
	1964
東京オリンピック	1969
	1969
大阪万国博	1970
	70年代
沖縄返還	1972
オイルショック	1972
	1973
	1974
	1983
プラザ合意、円高	1984
	1985
	1986
平成改元	1989
	1991
バブル経済崩壊 阪神大震災、サリン事件	1995
	1996
EU誕生	1999
	2003
リーマンショック	2008
	2011
東日本大震災	2012
スカイツリー完成 東京オリンピック	2020

靴産業年表	
産業創設の時代、殖産興国	
M3.3.15	日本初の製靴場
	ロシアへ国産靴輸出
	東京靴工組合設立
	軍需による産業基盤固まる
	パリ万博に靴出品
	靴輸出28万足(日露戦争景気)
	ロシアより長靴100万足受注
軍需・軍靴の時代	
	地下足袋発売
	ゴム布靴発売
	第一回東京商品見本市開催
	満州に共同出資メーカー設立
	革靴生産590万足(戦前最高)
平和産業・洋装化・手工業の時代	
	組合・団体次々設立
	皮革、革靴などの統制撤廃
	浅草に靴メーカーなど集積
	セメント製法急拡大
	下駄の生産高ピーク
近代化・高度成長・メーカーの時代	
	メーカーの機械化、量産体制
	晴海で靴見本市開催
	革靴輸出年間10億円
	ブーツ、厚底サンダル流行
	革靴輸出185万足
	日本靴産業100年
流通革命・問屋主導の時代	
	大量販売に対応する問屋台頭
	ブーツブーム
	厚底靴流行
	アメリカ屋靴店年商100億突破
	チヨダ靴店100店舗突破
ファッション化・企画問屋の時代	
	DCファッションブーム
	JISで靴はきものサイズ統一
	シューフィッター講座始まる
	皮革・革靴輸入TQ制
	チヨダ靴店、年商1,000億突破
輸入靴台頭・産業再編の時代	
	インポートシューズ急拡大
	ナイキ・エア大ヒット
	震災で神戸・長田地区打撃
	PL法施行
	輸入革靴1,000万足突破
	厚底ブーム
	靴履物年間消費量6億足突破
	合皮など低価格商品急増
	輸入革靴3000万足突破
	日本靴産業150年

1870(明治3)年3月15日、明治の実業家として活躍する旧佐倉藩士、西村勝三が、東京・築地入舟町に我が国初めての靴工場、伊勢勝造靴場(いせかつぞうかじょう)を開設しました。その後、各地に造靴所が次々につくられ、殖産興国と富国強兵という時代の要請に応え、今日につながる日本の靴産業の基礎が築かれていきます。

その靴業誕生の日を、1932(昭和7)年に東京靴同業組合が、先人への感謝と業界の発展を願って「靴の記念日」としました。その後、太平洋戦争と敗戦の混乱、高度成長時代、ファッション化、国際化などの社会変化を乗り越えて、業界は今日を迎えています。

「靴の記念日」メモリアルイベントは、そんな産業の歴史と靴に携わる人々の想いを、多様な靴コレクションと貴重な資料展示と共に紹介するものです。

やがて来る2020年は靴業150年の節目。時代、社会、市場、すべてが大きく変動する中で、日本の靴と産業はどんな未来を拓くのか。——その夢と創造力の一端をご覧ください。

3.15 「靴の記念日」メモリアルイベント 2018

トークライブ

靴産業の歴史と日本の靴の未来

2018年3月15日(木) 午後2時~6時

展示イベント

- 1 **ニッポン靴産業150年と時代を彩った靴**
2018年3月10日(土)~15日(木)
- 2 **十人十色 百靴百様——靴製作者十人展**
2018年3月17日(土)~22日(木)
- 3 **シューズアーティスト 三澤則行の世界**
2018年3月24日(土)~29日(木)

会場

浅草・雷門 浅草文化観光センター
6階=トークライブ 7階=展示イベント

3.15

「靴の記念日」メモリアルイベント 2018

トークライブ

靴産業の歴史と日本の靴の未来

会 期 2018年3月15日(木) 午後2時～6時 (開場1時30分)

会 場 浅草文化観光センター6階 多目的スペース

プログラム

プロローグ 2:00～2:10 靴の記念日メッセージ

第1部 2:10～3:10 靴産業の歴史をリードした偉人たちの物語
稲川實 皮革産業資料館副館長

唯一の産業歴史家として活躍する稲川さんが、貴重な図録・文献資料を基に、知られざる業界エピソードや人と靴にまつわる面白話をたっぷり披露してくれます。このチャンスをお聞き逃しのないように。

第2部 3:20～4:20 靴のファッション化をリードしたデザイナー & 企業
大谷知子 靴ジャーナリスト

60～80年代の産業発展の推進役となったファッション企業・ブランド、そして高田喜佐、熊谷登喜夫、三原康裕などのデザイナーたち。世界の靴産業を取材するトップジャーナリストが日本の靴の特色・魅力を解説します。

第3部 4:30～5:30 日本の靴づくりをリードする「靴の平成世代」、
靴製作者たちのトークセッション

靴メーカー、問屋、小売店、そしてデザイナーや靴職人によるミニトークとディスカッション。昭和世代が築いた浅草靴産業、平成世代が生み出した靴づくり文化——その先にある「日本の靴づくり」を共に考えます。

エピローグ 5:30～6:00 情報・意見交流会

会 場 浅草文化観光センター6階・7階

東京都台東区雷門2-18-9

地下鉄「浅草駅」から徒歩1分、雷門前

「靴の記念日」メモリアルイベント 2018 supporter & operator

一般社団法人日本皮革産業連合会 / 一般社団法人東靴協会

東都製靴工業協同組合 / 日本靴連盟 / 日本靴工業会

台東区 / (公財)台東区産業振興事業団 / 皮革産業資料館 / 浅草ものづくり工房

(株)リーガルコーポレーション / 内田製靴(株) / シューフィルC & Cネットワーク

